



教育推進室だより

第3号

平成27年10月15日

武蔵野市教育委員会

指導課教育推進室

電話60-1241



使いたいデータを使いたいときに

— 研究成果の共有と活用を目指して —

統括指導主事 木下 雅雄

子どもたちの知性を磨き、豊かな心と健やかな体を育むために、市内の小中学校では、日頃の教育活動と並行して、研究テーマを設定し校内研究に取り組んでいます。市教育委員会では、教育課題の解決に向けた研究を行う学校の中で、毎年数校を教育課題研究開発校及び教育研究奨励校に指定しています。今年度も教育課題研究開発校に第四小・大野田小・井之頭小の3校を、教育研究奨励校に第三小・境南小・関前南小・桜野小・第五中の5校を指定して研究を支援しています。これらの学校のうち、第四小・境南小・桜野小・第五中の4校と、都言語能力向上拠点校の第一中、全国及び都学校安全教育研究校の本宿小は、今年度研究の成果を発表する年となっており、研究発表に向け、準備を進めています。

これまで各校で研究発表した内容については、研究した学校の中で引き継がれ、日々の授業に活かされてきました。また、研究発表当日に参加したその他の学校の教職員に配布された学習指導案や授業中に使う学習カードなどの資料を、それぞれの学校で共有化することにより、市内全体の教育の質の向上を図ってきました。しかし、持ち帰った資料が紙媒体のため、他校での情報共有が短期間に終わってしまったり、研究発表会後に市内小中学校に異動や採用された教職員には情報が伝わらなかったりするなどの課題がありました。また、紙媒体の資料は、そのままでは授業ですぐに使えないことも少なくなく、各校のホームページに電子データがアップされていても、加工が難しいPDF方式のデータが大半で、結局、初めから同様の資料をパソコンで作成し直して使わないといけない実態がありました。



そこで、教育委員会では、多くの教職員が研究成果を共有し、資料作成の時間的な負担を少しでも軽減しながら、より質の高い授業を行うために、小中学校で教職員が使っているパソコンのMSIS (Musashino School Information System) 内に、学習指導案や授業中に使う学習カードなどの資料の電子データを保存し、市内の全教職員が自席でそれらの資料を必要などに取り出し、加工して使えることができるように、教育推進室の「教育情報の収集・発信」と「調査・研究」の機能を整備するシステムづくりを現在進めています。今年度は、平成26年度に研究発表した第二小学校と第三小学校で作成した資料の電子データを活用できるようにします。なお、MSIS内に収録する電子データは、教育推進室が管理し、今年度以降、研究発表する学校の資料も随時追加し、内容の充実を図っていく予定です。

教育委員会としては、今後も教育推進室の「相談・支援」「研修」「教育情報収集・発信」「調査・研究」「ネットワーク構築・コーディネート」の5つの機能の充実を図り、学校を中心とした子どもたちへの教育活動に対する支援や教員の多忙化の解消に向け、学校教育をますます充実させていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

研究指定校の研究内容や活用についての紹介

教育推進室では、10月13日（火）より、平成26年度に研究発表した第二小学校と第三小学校の学習指導案やワークシート等の電子データを下表のとおり公開しています。MSIS内の電子データについては、WordやExcel形式で保存しておりますので、各学校での学習内容に合わせて加工し、御活用ください。

今後は、「教育情報の収集発信」と「調査・研究」の機能を整備し、武蔵野市ホームページに、保護者・地域の方等に向けて教育情報の発信を行っていくとともに、市内の先生方が効率的に質の高い教育活動を実施できるようにMSIS（Musashino School Information System）に、研究指定校等の研究内容についてのデータを掲載してまいります。



研究紀要には
アイデアがいっぱい

武蔵野市ホームページやMSISにおける情報掲載

学校名	研究課題	掲載場所(掲載内容)	
		市ホームページ	MSIS
第二小学校	体育 健康教育	リーフレット等 (PDF)	学習指導案・ワークシート 等 (Word、Excel)
第三小学校	理数教育		

電子データは、以下の場所で参照することができます。

掲載場所	アドレス
市ホームページ	http://www.city.musashino.lg.jp/kyoikui/21455/022330.html
MSIS	¥教材作成ファイルサーバ¥学校共有¥17 教育推進室¥学習指導案等情報.htm

※ MSIS は、武蔵野市立学校の先生方が活用している教育用ネットワークです。市内の先生方のみアクセスすることが可能です。



平成27年度の研究指定校一覧

平成27年度は、以下の通り、研究指定校等の研究発表会が予定されております。

① 教育課題研究開発校

学校名	研究課題	研究主題	研究発表日
第四小学校	学校図書館	読みたい！調べたい！伝えたい！ ～学校図書館を活用した言語活動の充実～	平成27年11月13日（金）

② 教育研究奨励校

学校名	教科等	研究主題	研究発表日
桜野小学校	算数	考える力を育てる指導法の工夫 ～算数科・ICT機器の活用を通して～	平成27年11月20日（金）
境南小学校	健康教育	知ろう！ 考えよう！ やってみよう！ ～健康教育を通して～	平成27年12月4日（金）
第五中学校	人権尊重 教育	未来を担う子供たちの豊かな心の育成 ～互いに尊重し、信頼し合う教育活動の実践を通して～	平成27年12月18日（金）

③ モデル校・その他

学校名	事業内容	研究発表日
第一中学校	東京都教育委員会 言語能力向上拠点校	平成27年10月29日（木）
本宿小学校	学校安全教育モデル校	平成28年2月12日（金）

体育を専門とする

学習指導員

平成27年度から
始まりました

の紹介

「体力は、人が知性を磨き、知力を働かせて活動していく源である。また、体力は、生活するうえでの気力の源でもあり、体力・知力・気力が一体となって、人としての活動が行われていく。このように、体力は『生きる力』の極めて重要な要素となるものである。」と平成14年に中央教育審議会が答申した「子どもの体力向上のための総合的な方策について」の中で子どもの体力向上の重要性が示されました。本市では今年度から体育を専門とする学習指導員を小学校4校に配置し、来年度も拡大していく予定です。その学習指導員の活動を四小と千川小にお伺い取材してきましたので、ご報告いたします。



四小で指導する屋部先生

【四小】3年の合同授業で運動会に向けての練習でしたが、雨のため校庭から体育館に場所を変更して棒引きと表現運動を行いました。学習指導員は屋部雅朋先生です。担任の先生が準備運動や競技方法の説明を子どもたちに行っている間に、屋部先生が素早く棒を並べ、あっという間に準備完了しました。棒引きは熱戦となりましたが、安全に配慮しながら子どもたち

のそばで優しく声をかけていました。事前に担任から授業概要連絡票で授業展開を把握し、担任とアイコンタクトを交わしながら、授業を進めていました。

【千川小】1年と3年の授業で、内容は体育館でのリレー練習とマット運動でした。学習指導員は藤本久代先生です。担任と一緒に子どもたちに指示して、使用するマットを安全に運ばせていました。その後も担任とうまく連携しながら、児童一人ひとりの技能に合わせ、きめ細やかに指導を行い、子どもたちは汗だくになりながらも満足そうな表情で取り組んでいました。

どちらも授業時間中、運動量いっぱいの充実した授業でした。さらに多くの学校で学習指導員が、武蔵野の子どもたちの体力向上のために活躍してくれたらいいなあ、と思いました。

取材協力いただきました両校及び屋部先生と藤本先生、ありがとうございました。



千川小で指導する藤本先生

セカンドスクールが「2015年度 グッドデザイン賞」を受賞



武蔵野市教育委員会の「セカンドスクール」の取組が、このたび2015年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。セカンドスクールの市立小中学校全校実施20年の節目の年に、「セカンドスクール」に対する再評価を行うとともに、ねらいに基づいた体験活動の一層の充実を図るため、私たちの生活をより豊かにする「終わりのない継続的な創造的思考活動」を表彰する「グッドデザイン賞」に応募しました。審査委員の方より「市の教育委員会として20年もの間こうした取組を続けていることは素晴らしい。その内容もこれまでの経験が集約されていて、子どもたちにとっては貴重な体験になっていると想像しています。」という高い評価をいただきました。教育委員会では今回の受賞を契機に「セカンドスクール」のさらなる改善・充実を図り、これからの社会を支える児童・生徒の育成に向けた支援を行ってまいりますので、よろしく願いいたします。

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年に経済産業省が創設したグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで59年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は40,000件以上にのぼります。ここでのデザインとは、私たちの生活をより豊かにするための「終わりのない継続的な創造的思考活動」を定義し、有形無形を問わず、人によって生み出されるあらゆるものや活動を対象としています。現在では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞となり、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>

シリーズ 初任の先生 “今日もがんばる！” <その3>

8月5日から8月7日に開催された初任者宿泊研修では「子どもたちが知りたくなる！聞きたくなる！勉強したくなる！面白い！」と思える授業をつくるために学習指導案の作成や模擬授業、グループ協議などの研修を行い、授業力の向上を目指しました。また、野外における実際の活動とおして、校外学習における安全管理なども学びました。指導のポイントとして「校外学習当日だけでなく、事前、事後の指導においてもねらいを明確にすること」「本物体験の大切さ」「身近なものでも視点を変えると子どもの興味・関心をひく教材になること」を指導主事から学ぶとともに、「野外活動における引率の先生たちのチームとしての連携」「事前授業として、その場所のマナーや歴史等を調べる準備」が必要であるということによって先生方の認識が一致しました。

3日間の研修を終えて「子どもたちにとって、授業が分かることが学習意欲の向上につながり、学校が楽しくなる要因になり得る」、「自分の授業を振り返ることは子どもたちがどの程度、理解できているのかを判断することにも、授業改善をしていくうえでも大切なことだと感じた」、「今後の職務に生かしていくために必要なことを集中して学ぶことができた」など、多くの感想があげられました。自然に癒されリラックスした環境の中で、先生方の充実した笑顔が印象的でした。

今後の先生方のさらなる飛躍を期待しています！



富士 Calm の雑木林



富士 Calm 広場



富士浅間神社

出前授業いたします

&

職場体験、引き受けます

～地域で活躍している団体紹介<その2>～

公益社団法人武蔵野法人会（吉祥寺南支部 足立恵子）

武蔵野法人会は、「申告納税制度の推進と税務知識の普及」を目的として昭和25年に設立され、平成23年4月より公益社団法人として新たなスタートをきり、武蔵野、三鷹、小金井の3市で活動する組織です。社会貢献活動の一環として地域の子どもたち対象に「税金」について単なる知識だけを教えるのではなく、「税金とは何か？なぜ税金が必要か？」を考えてもらうことを目的に「租税教室」を開催しています。また、別の活動として中学生に働くことの意識や仕事の大切さを感じてもらい、将来の進路選択への意欲も身に付けさせ、地域に貢献し、地域の中で成長していくという意識も育んでいきたい。そして、人を思いやる気持ちや責任感を育てたいとの思いで「職場体験」のための企業紹介の協力に取り組んでいます。足立恵子さんは「武蔵野昔話紙芝居一座 むさしの」の代表でもあり、団員15名で「地域の歴史や民話を紙芝居で広めていき、お声がかかればどこへでも行きます。」との意気込みで活動しています。



租税教室の様子



足立恵子さん

お問い合わせは、教育推進室または武蔵野法人会 吉祥寺南支部へお電話

電話 0422-60-1241(教育推進室)

0422-79-1891(武蔵野法人会 吉祥寺南支部)

【お知らせ】

今回の教育推進室だよりでお気づきの点やご意見がありましたら、ぜひ教育推進室までお寄せください。次号は地域ネットワークの構築に向けて、地域の人材を活用した特色ある教育活動や理科を専門とする学習指導員の活動等について紹介する予定です。